

## 推敲あれこれ

津金規雄×高野公彦

⑩



## ◆表現は具体的に

高野 こんにちは。歌の推敲の仕方について、選者と電話で対談をしています。今月は津金規雄さんです。宜しくお願ひします。いつものように推敲例を用意していただきました。

喜々として裸足の子等が池に入るおたまじやくしの群れ追いかけて (原作)  
 まじやくしの群れ追いかけて (原作)  
 声上げて裸足の子らは池に入るおたまじやくしの群れ追いかけて (改作)

津金 まず概念的な「喜々として」を具体的な描写に変えました。

高野 「声上げて」、いいですね。

津金 それから「子等」の表記は堅苦し

いので平仮名にしました。ついでに「子らが」を「子らは」にしてみました。  
 高野 「が」と「は」の違いは微妙で説明が困難ですが、私も自分の歌なら「子らが」でなく「子らは」にしますね。

校門に一年生の下校待つ爺ちゃんは靴婆ちゃんは傘 (原作)  
 校門で一年生の下校待つ靴持つ祖父ちゃん傘持つ祖母ちゃん (改作)

津金 これは「爺ちゃん、婆ちゃん」の述語がないので、「持つ」を補いました。また、校門で待っているのは単なる年寄りではなく、一年生の祖父と祖母だと思えますので、文字を変えました。それから日常的な内容なので、「校門に」より口語的な「校門で」にしました。

高野 これは「に」を「にて」の意味で使っています。その使い方はなるべく止めたほうがいいですね。具体的な例を挙げると、①「バスで駅にゆく」、②「バスにて駅にゆく」、③「バスに駅にゆく」、この三つは同じ意味ですが、日本語として③は珍妙すぎると思います。

津金 そうですね。もし「島に船に近づく」と言ったら、いったい何に近づくのかわからない(笑)。

## ◆自分勝手なルビは、やめよう

奈良へ帰ると決めし旧友と南京街で昼食を摂る (原作)  
 ふるさとの奈良へ帰ると決めし友を南京街のランチに誘う (改作)

津金 「奈良」に「ふるさと」というルビを付けるのは強引で無理があるので、直してみました。それから助詞の「と」が多いので減らしました。

高野 「友を」に直したので、「南京街のランチに誘う」としたのが見事です。ね。

燃ゆる思い何もなければ落葉などかき

集めては焚き付けてみる (原作)  
燃ゆる思い何もなければ、  
めては焚き付けてみる (改作)

津金 「何もなければ」は散文的で面白くない。そこを「何もなければ」として作者の思いを際立たせてみました。

高野 うまいですね。「落葉など」を「楓落葉」としたのは？

津金 「など」は曖昧さがあるので、具体的に「楓落葉」としてみました。

高野 楓はケヤキの別名ですね。改作は昔の恋人のことを密かに思い出しているような雰囲気があって、いいなあ。

#### ◆語順を考える

白露の石路の葉に光るあさ富士山頂に

初雪といふ (原作)  
石路の葉に白露の光るあさ富士山頂に  
初雪といふ (改作)

高野 ここからは私が用意した推敲例です。「白露の」は「光る」に繋がるんですが、あいだに「石路の葉に」があつて邪魔になっている。

津金 主語と述語は近接しているほうがいいですね。

高野 そうです。主語・述語に限らず、短歌は語順が大切ですね。例えば、「百房の黒き葡萄に沈黙のわれに見よとぞ

ふりそそぐ」と「沈黙のわれに見よとぞ百房の黒き葡萄に雨ふりそそぐ」は、どちらがいいか、一目瞭然です。

津金 ああ、後者は斎藤茂吉の戦後の名作ですね。

高野 そう、前者はニセ茂吉です(笑)。

#### ◆ぶつぎらぼうな詠み方は避けよう

穂すすきがわが丈こえて高く伸びふう

わりふわり秋風の過ぐ (原作)  
穂すすきがわが丈こえて高く伸びふう  
わりふわり秋風の過ぐ (改作)

高野 原作は三句目で動詞の終止形で切

れて、結句も動詞の終止形で切れています。そのため作品がぶつぎらぼうな印象を与えます。

津金 それで三句目の終止形を、連用形で「高く伸び」としたわけですね。

高野 宮先生の歌で「たたかひを終りた

る身を遊ばせて石群れる谷川を越ゆ」という歌がありますが、もし三句目が「遊ばせる」だったら絶対ダメでしょ？

津金 それはニセ柊二ですね(笑)。

#### ◆「吾が」はあつても「吾の」は無い

新聞に吾の歌載らぬ日の続き友が案じて声かけて来る (原作)

新聞に吾が歌載らぬ日の続き友が案じて電話かけ来る (改作)

高野 万葉集に「吾」という言葉があつて、「あ」または「わ」と発音します。

例えば「君が目を見まく欲しけくこの二夜千年のごとも吾は恋ふるかも」。でも「吾の」という言い方はないんです。

津金 「吾が」となるわけですね。

高野 そう、例えば「うちひさす宮道を人は満ち行けど吾が思ふ妻はただ一人のみ」というふうには「吾が」となる。

津金 そういえば、群馬県を走っている鉄道「吾妻線」も、アノツマセンではなくアガツマセンですね。

高野 本日はありがとうございました。

イラスト「鬼に金棒」(高野公彦画)